

2022年度 全日本トラックレースシリーズ 第4戦
TIPSTAR DOME CHIBA 7月ラウンド (記録会&ホィントレース&ケイリン&マディン)

2023年1月25日

Communique5

競技上の注意

(1) 基本原則

- ・すべての参加者(選手、スタッフ、役員、その他)は**安全を第一**に競技会に参加すること。
- ・すべての参加者は競技規則を再確認し、それを順守すること。

(2) 本大会の競技役員は以下の通り

- ・チーフコミッサー **古田 雅拓**
- ・ジャッジレフリー **西川 一郎**
- ・セクレタリー **大脇 恒夫**
- ・スターター **古川 利勝**
- ・テクニカルデリゲイト **松倉 信裕**
- ・セーフティーマネージャー **古賀 岳文**
- ・トラックマネージャー **三宅 秀一郎**
- ・その他アシスタントコミッサー (予定)

(3) ウォームアップについて

- ・すでに発表されている通り、本大会では公式練習時間は設けない。
- ・実地講習がそれに代わるものである。

(4) バイクチェックについて

- ・バイクチェックは出走の**15分前まで**に行うこと。
- ・チームスタッフは出走順と競技の進行状況を確認し、選手が時間通りにバイクチェックが行えるよう努力すること。
- ・主催者は参加者のバイクが競技規則に適合しているかどうかを確認する。
- ・**自転車の整備はすべて参加者の責任である**
- ・自転車の整備不良等により、安全を損ねる危険性がある場合は、出走を認めないことがある。



JAPAN CYCLE SPORTS
PROMOTION ASSOCIATION



2022年度 全日本トラックレースシリーズ 第4戦
TIPSTAR DOME CHIBA 7月ラウンド（記録会&ポイントレース&ケイリン&マディソン）

(5) セーフティーゾーンについて

・競走中は、セーフティーゾーンの中には競技規則で認められている場合を除き、チームスタッフが立ち入ることはできない。

すなわち、パーシュート種目と、バンチレースで事故が発生した後にコミッセルに認められた場合を除き、チームスタッフはセーフティーゾーンに入ることはできない。

・スタート前のホルダーはその限りではないが、走路に侵入する際は周りをよく注意すること。

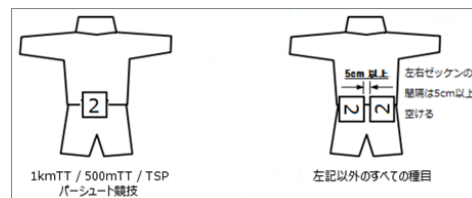
・競走中であっても一部の競技役員はセーフティーゾーン内で執務を行っている。選手はよく前を見て走行し、衝突することのないように注意すること。

(6) ポイントレースについて

・スペシャルゼッケンを使用する。選手は、番号間違いが無いように確認の上、審判が視認できるように安全ピンでしっかり取り付けること。また、フレームプレートを配布するので、身体で隠れないように取り付けること。（トランスポンダーは装着しないので、ゼッケン及びフレーム番号が選手判別において非常に重要となるため、十分に留意すること。）

・事故等に備えたチーム員は、必要な機材をあらかじめウオームアップエリアの走路入り口付近で準備・待機すること。（スロープでの待機は認めない）ただし事故の際にインフィールドに入る際は、コミッセルの許可を受け、その指示に従うこと。

「参考：ゼッケンの付け方」



以上